

2021年10月20日

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程、宜しく願い申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

検査項目名	抗リン脂質抗体検査パネル(APS検査パネル)	
コード No.	(新システム) (親) 13648 (子) 22982 抗カルジオリピンIgG (子) 22983 抗カルジオリピンIgM (子) 22984 抗β2GP1 IgG (子) 22985 抗β2GP1 IgM	(従来システム) (親) 6095 (子) 6096 抗カルジオリピンIgG (子) 6097 抗カルジオリピンIgM (子) 6098 抗β2GP1 IgG (子) 6099 抗β2GP1 IgM
検体量	クエン酸血漿 0.5mL	
採取容器	E (クエン酸Na入り容器) → 1 (血清・血漿分離容器)	
保存方法	凍結	
検査方法	CLIA	
基準範囲	20.0以下 U/mL	
所要日数	3~6日	
検査実施料/判断料	696点 / 免疫学的検査 144点 抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として、CLIA法を用いた免疫学的検査で抗カルジオリピン抗体及び抗β2グリコプロテインI抗体の測定を行った場合に、一連の治療につき2回に限り算定する。 抗カルジオリピンβ2グリコプロテインI複合体抗体、抗カルジオリピン抗体、及び本検査のいずれか2つ以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。	

指定難病の1つである抗リン脂質抗体症候群(APS)は、抗リン脂質抗体(aPL)が血中に証明され、さまざまな部位の動静脈血栓症、習慣流産などの妊娠合併症をきたす疾患です。

国際血栓止血学会(ISTH)は、APSの診断基準で、ループスアンチコアグラント、抗リン脂質抗体4項目(抗カルジオリピン抗体:aCL IgG/IgM、抗β2グリコプロテイン1抗体:aβ2GP1 IgG/IgM)の同時検査を推奨しており、ループスアンチコアグラント、抗カルジオリピン抗体、抗β2グリコプロテイン1抗体のいずれかが、12週以上の間隔で2回以上陽性の場合、APSであるとしています。

本検査はAPSの診断補助検査として有用です。

《検査方法の参考文献》 奥 健志, 他: Jpn. J. Clin. Immunol 38(3), 157-163, 2015.

【開始時期】2021年10月25日(月) ご依頼分より

以上

尚、詳細につきましては、営業担当者またはインフォメーションまでお問い合わせ下さい。